

# 市民要求が実現

9月議会

## 学校給食費負担軽減

小学生月400円  
中学生月500円助成

9月補正予算で937万3千円が学校給食食料費負担軽減に充てられ、小学生月400円、中学生月500円が助成されます。

物価高騰により食料費が値上がりし、給食費の負担が増えることが心配されています。上田由美子市議は「新

日本婦人の会小矢部支部として6月3日、桜井市長と栢元教育長に、学校給食費の保護者負担を増やさないことと、給食の質を落とさず子どもの成長を保障することを要望しました(写真)が、これが実現してうれしい」と語っています。



## 子どものインフルエンザ予防接種補助1回3千円に増額

高校生世代まで対象に

新型コロナウイルス感染症 初補助なしから1回3千円にインフルエンザの同時流行をなりました。生後6か月から未防ぐために、子どものインフルエンザ予防接種への補助が増額されました。小学生・中学生は当初予算の1回1千円から1回3千円に、高校生世代も当

が実りました。日本共産党が市議会でも繰り返し改善を求めてきたこと

「おかげさまで、市民の暮らしを守る日本共産党の議席を砂田喜昭さんから引き継ぐことができました。コロナ感染や物価高などにより、多くの生活困難がある中で、みなさんと一緒に身近な課題を一つ一つ解決していきます。農業を維持できるようにすることや、憲法9条を変えさせないことなど、国の姿勢を正す活動も行います。ジェンダー平等実現の施策を求めていきます。」

### 上田新市議の決意



上田由美子さんは投票日翌日、市議選での温かい支援に感謝しながら、街頭から次の決意を語りました(写真)。

## 小矢部市議選

### 上田由美子さん2位で当選

小矢部市議会議員選挙が8月7日投票で行われ、日本共産党の上田由美子候補が1101票を獲得し、第2位(同数二人)で当選しました。

## 上田由美子市議が初質問

# 統一協会と関わるな

市内でフォーラムを「となみ野を愛し元気にする会」は 統一協会関連団体

【上田市議】今年2月27日に、津沢コミュニティプラザで、「となみ野を愛し元気にする会」を名乗る団体が、「木曾義仲・巴御前フォーラム」を開催した。この会の会長、鴨野守氏は統一協会の関連団体「世界平和連合富山県本部」事務局長。この会の副会長廣田氏が主催者あいさつ、この会の事務局山下氏が桜井市長のメッセージを代読した。柴田巧参議院議員がビデオメッセージを送った。

統一協会、別名世界平和統一家庭連合は、霊感商法で法外な値段のつぼなどを売りつけたり、信者に多額の献金を求め生活を破たんさせたり、また人権を無視した集団結婚を行うなど、反社会的団体であると裁判でも判決が出ている。

今後、小矢部市や市長が反社会的団体である統一協会およびその関連団体とは、一切関わりを持たないことを求めたい。

【桜井市長】旧統一協会について、社会

的に問題のある団体であると、今回、報道等で知ったところである。「となみ野を愛し元気にする会」やピースロードが、一連の報道により、世界平和統一家庭連合の関連団体が関係していることを知った。このことは大変不勉強であり、率直に反省している。誠に申し訳ありませんでした。

本市としては世界平和統一家庭連合の関連団体と判明した団体とは今後一切の関係を断つこととし、9月14日付ですべての部局、並びに所属職員に対して後援名義等の使用を承認しないように指示をした。

【上田市議】統一協会の霊感商法の被害に遭った方の相談窓口を市に設けることを求めたい。

【民生部長】現在行っている消費生活相談と同様、解決に向けてた助言を行うとともに、被害状況によって警察や法律相談窓口を紹介するなど関係機関と連携するなど適切に対応していきたい。



# ひらば

「ころぎしつたふれし少女(をとめ)よ/新しき光のなかにおきて思はむ」。アララギ派の歌人、土屋文明の歌です。▼軍国主義の時代、稀代の悪法、治安維持法の下、特高警察の激しい拷問を受け、24歳の若さで生涯を閉じた伊藤千代子を歌っています。千代子は土屋文明の教え子でした。▼映画「わが青春つきるとも」伊藤千代子の生涯」を見ました。戦争反対、民主主義を求めることが犯罪とされた時代、主権在民、貧困と差別の解消を貫いてたたかった若き千代子の物語です。▼警察は主権在民の主張を下げれば釈放すると言います。これに屈した人たちの多くは後に転向していきま。▼獄中でも学習を続け、仲間を励ましつづけ、志を貫きました。看守から目の届かない木の下に、考えやつかんだ情報や励ましの交換をするなどの工夫をして戦っていました。若い女性たちが拷問に耐えながらよくここまで頑張れたものだと思います。▼拷問のシーン目は背けずにはいられません!! ウクライナの戦争が頭をよぎり、とても辛かったです。▼「戦争と弾圧は手をつないでやってくる」映画のパンフレットの言葉ですが、今のロシアやウクライナだけではありません。

▼戦前の日本、女性が政党に加わることも御法度でした。唯一、非合法の日本共産党にだけは千代子のような女性党员がいたのです。▼今年日本共産党創立100周年。「高き世をたためず少女等らここに現れば/伊藤千代子がこぞ悲しき」。土屋文明自筆の書が党本部に寄贈されています。▼今では当たり前のように参政権、男女平等、国民主権、これらが100年前の千代子や名もなきたくさんの先人の方々の勇気と行動、苦闘の上でつかみ取ってきたのだと、改めて気付かされました。